

科目名		生命倫理	教員名	大越教夫、椎名清和、馬場智理	学科等	看護	必修	履修年次	1
(科目番号)		(時間割参照)		大槻優子、野田智子	曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
					授業形態	講義	オフィスアワー	授業開始時に提示	
授業概要		医療の知識・技術は常に進歩しており、それを取り巻く社会や医療に関する考え方も年々変わりつつある。看護学分野の仕事は、人の生命に直接関係するため、患者・利用者等に対して生命倫理面でも適切に対応する必要があり、看護師においては高い倫理観が求められている。この授業では、生命倫理の基本原則の確立や普及に大きな影響を及ぼした倫理綱領・倫理規程や参考となる歴史的経緯を学ぶとともに、医療の具体例により生命倫理の今日的課題についての考え方を解説する。こうした学習を通して、生命倫理の基本原則を修得し、高い倫理観の涵養に役立てる。							
目的・目標		目的:生命倫理の基本原則を修得し、高い倫理観の涵養に役立てる。さらに、医療専門職としての医療現場における生命倫理の重要性を理解する。 目標:①生命倫理の基本原則を理解できる。 ②生命に関する高い倫理観を会得し、今後の看護学分野の学習に活用できる。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容						
	1	オリエンテーション・生命倫理の概略	到達目標:生命倫理の概略と生命の尊厳について理解する。 学習内容:オリエンテーションに加え、生命倫理の概略、生命倫理に関する歴史的実例を学習する。(診療放射線学科:大越教夫)						
	2	ヒポクラテスの誓いと職業倫理	到達目標:「ヒポクラテスの誓い」が現代の医療倫理に与えた影響について説明できる。 学習内容:歴史上最初の職業倫理とみなすことができるギリシャ時代の「ヒポクラテスの誓い」および現在の医療倫理の関連を学習する。(非常勤講師:馬場智理先生)						
	3	ニュルンベルク倫理綱領	到達目標:インフォームド・コンセントの概念がどのようにして生まれ、普及していったのか、その概略を説明できる。 学習内容:ニュルンベルク倫理綱領、インフォームド・コンセントの概略を学習する。(馬場)						
	4	患者の自己決定権の保障	到達目標:患者の自己決定権の保障することがなぜ重要なのかについて説明できる。 学習内容:「患者の権利章典」と「患者の権利に関するリスボン宣言」を学習する。(馬場)						
	5	がんと難病の告知・緩和ケア、安楽死・尊厳死	到達目標:がんと難病の告知の倫理的な問題点と課題について理解する。 学習内容:がん末期や難病の告知の現状および緩和ケア、安楽死・尊厳死を学習する。(大越)						
	6	医療事故、薬害	到達目標:医療事故、医療事故への対応、代表的薬害について説明できる。 学習内容:医療事故、リスクマネジメントや薬害の事例を学習する。(大越)						
	7	脳死と臓器移植	到達目標:脳死と臓器移植の生命倫理上の課題について理解し説明できる。 学習内容:脳死の定義、死の三徴候、臓器移植の必要性、日本と外国の移植医療の違い、及び臓器移植法を学習する。(診療放射線学科:椎名清和)						
	8	生殖補助医療と人工妊娠中絶	到達目標:生殖補助医療、人工妊娠中絶の倫理的な問題点と課題について理解する。 学習内容:人工授精、体外受精、代理出産等の生殖補助医療と人工妊娠中絶の現状を学習する。(大越)						
	9	出生前診断・着床前診断と遺伝子診断	到達目標:出生前や着床前診断、遺伝子診断との関連の問題点について理解する。 学習内容:出生前や着床前診断と遺伝子診断、その対応を学習し、自己決定権と生命倫理面の問題点について理解し説明できる。(大越)						
	10	環境、動物、研究倫理、特別な配慮を要する医療	到達目標:歴史的環境問題、動物研究、研究倫理、特別な配慮を要する医療について理解する。 学習内容:地球環境、公害問題、動物実験、研究倫理の概略を学ぶ。また、特別な配慮を要する、受診、治療、医療費等の課題を学習する。(大越)						
	11	看護倫理	到達目標:看護師に求められる職業倫理について説明できる。 学習内容:身近な事例をもとに、看護師の倫理的意識決定と行動化のプロセスを学習する。(看護学科:野田智子)						
	12	小児看護分野における倫理	到達目標:子どもの権利と自律性について説明できる。 学習内容:幼児期、学童期の具体的な事例をもとに、小児看護をめぐる倫理的な問題について考察する。(野田)						
	13	小児看護分野における倫理	到達目標:子どもの権利と自律性について説明できる。 学習内容:思春期の具体的な事例をもとに、小児看護をめぐる倫理的な問題について考察する。(野田)						
	14	母性看護分野における倫理	到達目標:母性看護について、看護師に求められる倫理について説明できる。 学習内容:具体的な事例をもとに、母性看護における倫理的な問題を考察する。(看護学科:大槻優子)						
15	母性看護分野における倫理	到達目標:母性看護について、看護師に求められる倫理について説明できる。 学習内容:具体的な事例をもとに、母性看護における倫理的な問題を考察する。(大槻)							
成績評価の方法・基準		対面・オンライン授業ともに、期末試験および課題レポートにて評価します。試験65% 課題35%							
教科書		生命倫理・医事法 第3版	塚田 敬義、前田 和彦				医療科学社; 第三版第2刷 (2023/2/10)		
参考図書									
教員からのメッセージ		教科書及び教員が用意する資料を利用して予習・復習をすること。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							